

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社テレビ東京ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9413 URL http://www.txhd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小孫 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 岩田 英治 (TEL) 03-6635-1771  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家及び報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	70,073	0.1	3,474	8.2	3,862	10.7	2,428	14.4
29年3月期第2四半期	69,974	6.4	3,211	△19.3	3,490	△16.2	2,122	△15.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,874百万円(51.1%) 29年3月期第2四半期 1,902百万円(△20.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	85	88	—	—
29年3月期第2四半期	75	05	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	116,849	66.8	80,526	66.8	—	—
29年3月期	116,275	65.4	78,443	65.4	—	—

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 78,080百万円 29年3月期 76,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00	—
30年3月期	—	15.00	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	146,500	2.7	6,300	△1.5	6,750	△0.6	4,000	△6.7	141	45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	28,779,500株	29年3月期	28,779,500株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	501,098株	29年3月期	501,163株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	28,278,373株	29年3月期2Q	28,278,652株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月～9月)における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善傾向のなか引き続き緩やかな回復基調にあるものの、海外における不安定な情勢や経済の不確実性など、依然留意が必要な状況で推移しました。

このような状況で、当社グループの連結売上高は700億7千3百万円、前年同期比0.1%増収、営業利益は34億7千4百万円、前年同期比8.2%増益となりました。また、経常利益は38億6千2百万円、前年同期比10.7%増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億2千8百万円、前年同期比14.4%増益となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

## (地上波放送事業)

放送収入のうちタイム収入は、4月クールの深夜やミニ枠の営業企画と「全仏オープンテニス2017」「世界卓球2017」「テレ東音楽祭2017」などのセールスは計画通り進んだものの、週末夕方帯の営業企画枠やゴールデン帯のドラマなどの特番が苦戦、また、前年度は昨年8月に開催された「リオデジャネイロオリンピック」による売上が大きかったことから、242億2百万円、前年同期比4.5%減収となりました。スポット収入は、効率的な枠運用と販促企画を活用してシェアアップを図ったものの、146億3千6百万円、前年同期比1.1%の減収、タイム・スポットトータルでは、388億3千8百万円、前年比3.3%の減収となりました。BS収入は、12億7千5百万円、前年同期比23.1%減収となりました。

番組販売収入は、レギュラー番組「金曜8時のドラマ」「出川哲朗の充電させてもらえませんか？」特番「池の水ぜんぶ抜く！」などが順調に推移し、19億6千7百万円、前年同期比0.8%増収となりました。

ソフトライツ収入では、「さぼりまん甘太郎」「100万円の女たち」など配信会社との連動ドラマの配信権利が大きく貢献しました。さらに「勇者ヨシヒコ」シリーズ、「孤独のグルメ」シリーズを筆頭に、深夜の人気ドラマのDVDと配信追加印税が好調でした。一方、海外番組部門は中国との契約遅延などにより前年度に比べ伸び悩みました。アニメ事業では、「妖怪ウォッチ」の国内商品化の減少や配信サイト「あにてれ」の初期投資費用がかかったという事情があるものの、海外での「NARUTO」の配信、ゲームを中心に「ポケモン」「フェアリーテイル」などが堅調に推移し、全体としてソフトライツ収入は115億4千1百万円、前年同期比1.1%増収となりました。

イベント収入は、「ゴッドタン マジ歌LIVE2017」「フィンランド国立バレエ」「坂東玉三郎&鼓動 幽玄」などの券売が好調で、イベント収入全体では2億9千6百万円、前年同期比110.5%増収となりました。

一方で、営業費用全体では、508億7千3百万円、前年同期比2.7%減少となりました。

以上の結果、地上波放送事業の売上高は541億5千6百万円、前年同期比2.3%減収、営業利益は32億8千3百万円、前年同期比5.5%増益となりました。

## (放送周辺事業)

CS放送関連は、アニメ専門チャンネル「AT-X」の加入者数減少傾向が続きました。投資作品の健闘でライツ売上など積み上げたものの、放送売上の減収分をカバーしきれず、(株)イー・ティー・エックスの売上高は29億6千3百万円、前年同期比4.3%の減収となりました。

一方、音楽出版関連は、第2四半期の印税収入は減少しましたが、第1四半期にアニメ楽曲の二次使用など想定を上回る印税収入を確保したことから、上期は堅調な業績を維持しました。これにより、(株)テレビ東京ミュージックの売上高は16億5百万円、前年同期比3.7%の増収となりました。

通信販売関連は、「なないろ日和！」をはじめとするテレビ・EC通販事業が好調に推移、テレビ東京、BSジャパンなどの放送枠拡大もあり、夏場から売上を大幅に伸ばしました。また、4月新番組「よじごじDays」の広告関連売上も増加したため、(株)テレビ東京ダイレクトの売上高は48億8百万円、前年同期比16.9%の増収となりました。

以上の結果、上述3社を含む放送周辺事業全体の売上高は186億1千2百万円、前年同期比6.6%増収、営業利益は14億4千9百万円、前年同期比11.3%増益となりました。

(BS放送事業)

放送収入は、オープンセールスの「昭和音楽祭」「実録日銀」の完売や、ゴルフ中継などによって、特番セールスが前年比12.5%増加と好調に推移しました。第1四半期は不調だったスポット売上も7月以降回復基調となっています。

一方、費用面では、昨年の新本社移転に伴う設備使用負担の増加や特番などで番組充実を図り番組制作費が増加しました。

以上の結果、BS放送事業の売上高は、78億2千万円、前年同期比0.0%、営業利益は3億7千1百万円、前年同期比45.7%減益となりました。

(インターネット・モバイル事業)

インターネット・モバイル事業では、お取り寄せグルメ「虎ノ門市場」の売上が好調で、中でもカタログ販売が順調に売上を伸ばし推移しました。その他、クロスメディア広告企画売上が引き続き好調で、売上拡大に貢献しました。また、キャラクター関連事業では、国内、海外ライセンス獲得、その他アプリ等の開発の売上が予想を上回る結果となりました。

一方、費用面では、年末商品販売の売上拡大のためプロモーションを強化したことで、広告宣伝費等が増加しました。

以上の結果、インターネット・モバイル事業の売上高は30億2千6百万円、前年同期比37.5%増収、営業利益は1億7千6百万円、前年同期比5.8%減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は614億6千1百万円、前連結会計年度に比して7億7千8百万円の減となっております。これは主に、制作勘定が16億4千4百万円の増となったものの、受取手形及び売掛金が9億4千7百万円の減、その他が18億3千3百万円の減となったことによるものです。

固定資産は553億8千8百万円、前連結会計年度に比して13億5千3百万円の増となっております。これは主に、有形固定資産が3億9千7百万円の減となったものの、投資有価証券が20億1千6百万円の増となったことによるものです。

(負債)

流動負債は297億2千3百万円、前連結会計年度に比して19億2千2百万円の減となっております。これは主に、支払手形及び買掛金が7億2千1百万円の減、未払費用が8億7千4百万円の減となったことによるものです。

固定負債は66億円、前連結会計年度に比して4億1千3百万円の増となっております。これは主に、その他が4億1千1百万円の増となったことによるものです。

(純資産)

純資産は805億2千6百万円、前連結会計年度に比して20億8千2百万円の増となっております。これは主に、その他有価証券評価差額金が2億8千4百万円の増、利益剰余金が17億2千1百万円の増となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年8月3日に公表いたしました平成30年3月期の通期の数値を修正しております。詳細につきましては平成29年11月2日公表の「2018年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,290	21,903
受取手形及び売掛金	26,491	25,544
金銭の信託	456	463
制作勘定	9,069	10,713
商品	86	89
貯蔵品	13	12
未収還付法人税等	341	1,077
その他	3,495	1,662
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	62,239	61,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,733	13,978
機械装置及び運搬具(純額)	11,688	11,606
その他(純額)	7,699	7,140
有形固定資産合計	33,121	32,724
無形固定資産		
その他	2,048	1,885
無形固定資産合計	2,048	1,885
投資その他の資産		
投資有価証券	13,962	15,978
その他	4,928	4,822
貸倒引当金	△25	△23
投資その他の資産合計	18,865	20,777
固定資産合計	54,035	55,388
資産合計	116,275	116,849
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,923	4,202
短期借入金	5,100	5,100
未払費用	13,071	12,197
賞与引当金	1,873	1,555
未払法人税等	888	827
その他	5,787	5,840
流動負債合計	31,645	29,723
固定負債		
役員退職慰労引当金	39	26
退職給付に係る負債	4,532	4,548
その他	1,613	2,024
固定負債合計	6,186	6,600
負債合計	37,831	36,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,336	20,336
利益剰余金	42,839	44,561
自己株式	△626	△626
株主資本合計	72,549	74,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,881	4,165
為替換算調整勘定	8	△1
退職給付に係る調整累計額	△377	△355
その他の包括利益累計額合計	3,512	3,808
非支配株主持分	2,381	2,446
純資産合計	78,443	80,526
負債純資産合計	116,275	116,849

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	69,974	70,073
売上原価	48,258	49,009
売上総利益	21,716	21,063
販売費及び一般管理費		
人件費	3,740	3,764
賞与引当金繰入額	537	588
退職給付費用	203	192
役員退職慰労引当金繰入額	10	12
代理店手数料	8,877	8,655
賃借料	1,913	828
減価償却費	316	634
その他	2,906	2,913
販売費及び一般管理費合計	18,504	17,588
営業利益	3,211	3,474
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	149	243
為替差益	18	—
持分法による投資利益	28	17
受取賃貸料	43	47
その他	59	96
営業外収益合計	303	406
営業外費用		
支払利息	6	14
為替差損	—	2
投資事業組合運用損	11	—
金銭の信託運用損	5	—
その他	1	0
営業外費用合計	25	17
経常利益	3,490	3,862
特別利益		
受取補償金	124	112
その他	0	—
特別利益合計	124	112
特別損失		
固定資産除却損	7	0
ゴルフ会員権評価損	2	—
その他	—	0
特別損失合計	9	1
税金等調整前四半期純利益	3,605	3,974
法人税、住民税及び事業税	1,208	1,058
法人税等調整額	117	347
法人税等合計	1,326	1,405
四半期純利益	2,278	2,568
非支配株主に帰属する四半期純利益	156	140
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,122	2,428

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,278	2,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△362	293
為替換算調整勘定	△35	△9
退職給付に係る調整額	21	21
その他の包括利益合計	△376	305
四半期包括利益	1,902	2,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,746	2,725
非支配株主に係る四半期包括利益	156	149

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,605	3,974
減価償却費	952	1,818
賞与引当金の増減額(△は減少)	△438	△317
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△76	△76
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	84	37
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△3
受取利息及び受取配当金	△153	△244
支払利息	6	14
投資事業組合運用損益(△は益)	11	△12
固定資産売却損益(△は益)	△0	0
固定資産除却損	7	0
持分法による投資損益(△は益)	△28	△17
売上債権の増減額(△は増加)	△270	947
たな卸資産の増減額(△は増加)	△397	△1,645
仕入債務の増減額(△は減少)	81	△721
未払費用の増減額(△は減少)	1,866	△1,305
前受金の増減額(△は減少)	618	2,019
長期未払金の増減額(△は減少)	△39	267
その他	△1,439	864
小計	4,393	5,586
利息及び配当金の受取額	154	243
利息の支払額	△6	△14
法人税等の支払額	△2,327	△1,082
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,213	4,733
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,600	△3,700
定期預金の払戻による収入	8,869	3,600
有形固定資産の取得による支出	△7,706	△2,896
無形固定資産の取得による支出	△174	△132
投資有価証券の取得による支出	△67	△1,598
貸付金の回収による収入	1	2
敷金の差入による支出	△2,314	△3
その他	13	418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,977	△4,310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△118	△109
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△705	△705
非支配株主への配当金の支払額	△56	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△881	△900
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,680	△487
現金及び現金同等物の期首残高	17,774	18,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,093	18,203

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地上波放送 事業	放送周辺 事業	B S放送 事業	インター ネット・ モバイル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,777	10,183	7,534	1,479	69,974	—	69,974
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,631	7,283	286	720	12,922	△12,922	—
計	55,409	17,467	7,820	2,200	82,897	△12,922	69,974
セグメント利益	3,111	1,302	683	187	5,284	△2,072	3,211

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,072百万円には、セグメント間取引等消去59百万円、無形固定資産・制作勘定の調整額△0百万円及び全社費用△2,131百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地上波放送 事業	放送周辺 事業	B S放送 事業	インター ネット・ モバイル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,376	11,049	7,469	2,178	70,073	—	70,073
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,780	7,563	351	847	13,543	△13,543	—
計	54,156	18,612	7,820	3,026	83,616	△13,543	70,073
セグメント利益	3,283	1,449	371	176	5,280	△1,805	3,474

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,805百万円には、セグメント間取引等消去65百万円、無形固定資産・制作勘定の調整額19百万円及び全社費用△1,891百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。